

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・写真 後藤
山行番	NO. 1950	
日時	2021年10月22日(金) 晴のち曇のち雨	
山域	ハッ・西天狗岳(2626m)・西尾根周回	
コース	唐沢鉱泉発 5:42—唐沢分岐 6:43—第一展望台 7:41—第二展望台 8:14—巨石帯— 西天狗岳 9:03~20—東天狗岳 9:42—中山峠 10:46—黒百合ヒュッテ(昼食) 10:50 ~11:24—唐沢鉱泉 13:28—唐沢鉱泉入浴(宿泊者無料)—長泉	
標高差	上り・下り 唐沢鉱泉約1870m~西天狗岳2626m=約756m	
快適度	5段階=5	
難易度	非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい	
<b>今季初雪山に痺れた</b>		
参加者	後藤、加藤、ほか2名=4名	

前回、那須連峰周回は、前日が厳しい山で、翌日の周回が大変だった。この歳になると「連荘」(れんちゃん・これは麻雀用語)は難儀だ。そんな反省で今回の初日は、あまり知られていない、横谷(よこや)溪谷で遊んだ。赤い岩床が見事な溪谷だった。紅葉は、ちと早かった。

林の中で「コガネダケ」という見事なキノコをゲットした。余り食べられていない情報だった。ネットでは、美味しいキノコの代表とあったが・・・。キノコは未食。残念でした。



コガネダケ



横谷溪谷

溪谷で「手製キノコうどん」を食べて、今日の宿、「唐沢鉱泉」に向かった。

宿は標高が1870mと高い。従って寒い。すぐ温泉に行く。有り難い。ただ、宿は鉱泉なので、源泉は10度という。これでは入れない。沸かしている。

それが理由かどうか定かではないが、宿代は、12000円+消費税+入湯税で高い。ま、しかし、これまで利用したことがないので、利用も良いかと思った。食事は、「美味しい」とは言えなかった。前回の那須は、安価でサイコーだったが・・・。

登山は、朝が早いので朝食は弁当。早朝、4:30寒々しい食堂で朝食。弁当の質は良かった。



八ヶ岳の山麓風景（左・蓼科山、中央・天狗岳）

以前、白馬山荘の弁当も良かった。ただ、折角の良い弁当も冷えたゴハンは頂けない。せめて、電子レンジがあればと思った。下山して、そんな話を係りに注文したが、余り関心は無かったようだ。レンジサービスは、手間も掛からないのに・・・。

外はまだ暗かった。ランプで出発。登山道は雪・氷の世界だった。西天狗岳・西尾根の唐沢分岐に上る。同行の女子二人のランプが問題だった。

登山で365日絶対、必要なモノは何か。勿論、登山装備は、何一つ欠かすことは出来ない。しかし、極端な話、食料だって無くても何とかなる。我慢すればいいし、誰かに貰うことも出来る。実際、大昔、剣岳池ノ谷（いけのたん）で、食料を分けて上げたことがある。

携帯だって最悪無くても、誰かに借りることが出来る。カメラも別に無くても大丈夫。365日絶対必要なモノとは、「代替えが出来ない装備」をいう。

ランプ、雨具、（私はそれにトイレ・ペーパー）だ。山は暗くなると下界のように、何となく明るくない。本当の暗闇。真っ暗である。動物は別だが人間はその状況では絶対歩けない。ランプは何が何でも必携装備なのだ。

山腹は北斜面なので、既に雪・氷の世界だった。私にとって、待望の季節到来である。何故か暑さに強いが暑いのは嫌い。何故か。暑いと、それでなくとも曖昧な思考能力が更に落ちる。暑いと、曖昧模糊なのだ。特に「書く・描く・弾く」などの行為が全くダメになる。

何よりもイイのは、「汗を掻かない」。汗は登山で大敵。汗を掻かないと、エネルギーは大幅に軽減される。



巨岩帯を上る

分岐で小休憩。分岐から快適な尾根を上る。シラビソの林が続く。天気予報は午後から悪かったが、朝は問題なかった。キレイな青空が梢に広がっていた。風はない。しかし、蓼科は何となく黒雲が広がり始めた。赤岳も怪しい。ノー・テンキでノンビリは出来ない。

第一・第二展望台で展望を思うがままにして、上部の巨岩帯に突入。巨岩帯は西尾根を特徴付ける場所。巨岩を縫うように上る。まともに上ると苦戦するので右端の植物帯境に行く。

やがて頂上。雪は薄っすらあったが寒くはない。昼食はまだ時間が早い。写真を撮ったりしていると、東天狗から男性二人がやって来た。

一人の方は、高齢の感じ。興味がありいろいろ尋ねてみた。年齢を聞いてビックリ仰天だった。最近、山で「年寄自慢」をしているが、今回は絶対、勝てない感じだった。確実に80歳は越えていると思った。しばらく歓談。なかなか、所属山岳会を聞けなかったが、やっと地元、原村のズバリ「原山岳会」と教えてくれた。

年齢は??で、私は昭和22年ですと言ったら、「昭和11年生まれ」と教えてくれた。ガビーン、私より何と11歳先輩だった。つまり現在「85歳!!」凄い・驚異・考えられない・こんな方もいるのだ。その辺のハイキングではない。曲がりなりにも、雪がある八ヶ岳である。

昨日は、黒百合ヒュッテに泊まったという。今日は、これから我々が上った西尾根を下るといふ。お顔を見てもシワもない。言葉も明瞭。ハッキリしている。世の中は広い。こんな方もいらっしやる。帰ってネットを見たら、「長野県山岳協会顧問・清水 澄さん(85歳)だった。

毎年、6月第一日曜日、阿弥陀岳で開山開き・安全登山祈願を行っていると言っているとネットにあった。イ



清水さん

イ方と巡り合った。このような大先輩が頑張っているのを見たら、まだまだ、ボケることは出来ない。しばし歓談後お別れした。

東天狗岳に寄って黒百合ヒュッテに下る。積雪時はイが少雪期ゴロタ岩が多い、このコースは好きでない。兎に角、歩き難い。閑散なヒュッテで昼食。空腹で美味しかった。Aさんは、ヒュッテでコーヒーを購入した。食後下る。下山道は更に最悪。延々と続くゴロタ石に薄っすらと雪が載



山頂



東天狗



東天狗岳





ボンダラゲー（山形弁でツララ）



新雪に紅葉



昼食



池の氷紋



っている。夏でもイヤな道が更に悪い。特に傾斜がある渡し板は酷い。慎重に足を進める。しかし、女性三名は案外しっかり下っている。下り方が上達したようだ。

唐沢鉱泉分岐から、道は幾分良くなった。その代わりに、先ほどまで我慢の限界だった空から「アラレ」が落ちて来た。上部は雪だろう。カッパを着込んだ。こんな風に山は冬に向かう。唐沢鉱泉は、宿泊者は無料で入浴できた。下山して間髪を入れず入浴は贅沢過ぎるね。

